
band

Road where we ilve

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

band

【著者名】

N5269M

【あらすじ】

夢も希望もない少年コウ

「ウのバンドマンへの道のり

R o a d w h e r e w e i l v e

ギター ユウト
ギター レン
ベース コウ
ドラム リュウ

この人達のバンドstory

http://blog.livedoor.jp/nanase
240 / ブログ

チューニングstart

オレはいつたこどりなるんだろう?
やりたいこともないし、夢もない
けれど、そんなオレが見つけたものは夢物語だった

「おーい」

「こいつは、ダチのコウトすこいつのねこけだな

「なんだよ」

「じつは、オレギターはじめたんだぜーーー！」

？？？

「は？？お前が？」

「なんでギターなんか

「ああそつさ。『ウお前ベースやらねえか？』

オレが？なにを馬鹿なことを

「やつてみようぜーーー！」

そして流れで始めることになつた
それからは毎日一応やつた

B U m p o f c h i c k e n

曲ばかりを

一週間後

「結構いいなベースも」

「だろ！！」

「ユウトか^○^：」

「そうだった！」

「ん？」

「ドラム探さないか

「もしかして・・・」

「そう！バンドだよ！」

「いいかもな。でも見つかるか？」

「見つかるよ俺が頑張る！」

お前かよ・・・；

「どこでどこで探すんだ？」

「中学でだろ

中学か・・・

友人は少ないほうだ・・・；

「そうか、まあ頑張れ」

「まあってなんだよ～～」

ドラム加入

「ユウト見つかったか?」
「…………見つかったぜ」
「なんで疲れているんだ?」
「どうした?」
「いや、この学校の子なんだけど……。」
「けど?」
「30kmも離れてたよ」
「30!?」
「片道で……。しかも朝来てつて言われたからさ、いつた結果これだよ」
「で・誰だ?」
「リュウだよ」
「あいつが?」
リュウは小学校の時から一緒だ。家には行つた事ないが
「そだよ」
ガラガラ——
「あ!リュウ!」
「あ?なんか用?」
「バンドだよ」
「ああ、バンドないいけど」
「あ!」
「ただ・・・・・・・・」
「ただなんだよ?」
「家がな」
「三人とも」
「ひ、一人暮らしとか」
「いいつて言われてるけど金が・・・」

「バイトだな俺の家の近くに家賃一万のところがあるみ

「コウの近くか」

「それなら親から少しもらえばな

「決定-----」

「コウト声でかい・

三日後

「こんなに早い。隣に引っ越してきたリュウと申します」

「おー早いな」

「これからは毎日あえるぞ」

ていうか三日でくるつて速いにもありえん

「俺の家でコウト呼んでセッションしないか?」

「リュウの家でか。いいな

二時間後

「始めるか」

俺のベースとコウトのギターとリュウのドラム
がはまる

それで俺達は、sailing dayを弾いて解散した

俺は、今バンドをやつてるがどうなんだろーか

将来の就職

その夜眠れなかつた

将来を考えた

真面目に就職するのか、バイトか、パートなのか
ミージシャンになんてどうせなれない

そうする内に夜が明けた

夜明け

考えた

将来の事 夢の事

結局わからなかつた

なにも・・・・・

どうなるだろ? うか?

俺の将来

夢は・・・・・

///コージージャンなんて無理だ

でも真面目に高校いって就職するのか?

そんのは嫌だ

でも悩んでいたって

しうがねえし

「まあオレには今バンドがある」

でも中学卒業した解散

嫌だそんなの

一人上京か？

音楽は好きだロックが好きだ

けれど……………

（朝）

「おひさまーーーーーーーー

「ゴウト今日は元氣だな」

「おひーーーーーーーー

リュウだ

「はやいな…………ゴウト」

相変わらずクールだ汗もかいてねえ

「お前が遅い」

「こやこやゴウトが叫ぶんだ」

「アハ、今日は会わせるへー

「セッションか？」

「いいだろ？」「

「じゃ、リュウの家に放課後レッスン漁——」

字ちがくないか？

授業ダリー——

さぼりつかな——体育

キーンゴーンカ——ン

「終わつた」

「ユウト・・・体育フケル」

「え・・やんねえの？」

「ああ」

「リュウは？」

「パスる」

「ユウトガンバ（笑）」

リュウと一緒に将来を話したいからな

ユウトが来る前に言つておいてよかつた

（体育）

「リュウ」

「ん？」

「大事な話がある」

「ん・・なんだ？」

「将来どうすんだ」

「高校いって音楽にのめりこんだら退学する」

「え・・・・・・・・・・・・・・

あつさりしていた

俺は退学なんて半端な事はしたくないな

・・・・・・・・・・・・・・・・

高校は行つた方がいいのか？

後親がなー

「やうか

「悩んでんのか?」

「うそ

「高校お前がいかないなら俺も行かねえ」

「……………」

「わかった」

「今までこのめつこんだら行かなきゃいい……………」

「やうするよ

「あらがとなー」

「先生」やこの見学ついでここ……

「すいませーーん

放課後

「ハハ」

「あ?」

「リュウとな話してたんだ」

「なんで？」

「リコウに聞いたらコウに聞けって」

「将来だ」

「え・・・」

「実際どうすんだ?コウア」

「バンド・・・」

「やうか

「俺ら一人は冬までにのめりこんだらバンドだ

「まあ、セッションしようぜ」

リュウの家

演奏終了

「なんか空氣重くねえか?」

「解散するか?」

「ああ」

解散

自モ

二人があんなこと思つて いるとは思つていなかつた

リュウは高校

ユウトはバイト

だと思つていた

まあ、いいか

ベースやつてねむる・・・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5269m/>

band

2010年10月10日20時22分発行